



Profile・左からスポーツ部会長の戸坂緑さん、情報部会長の曾瀬護さん、会長兼スマイル・企画部会長の小柳朋治さん、副会長の長谷亮佑さん、スタイル部会長の中村千佳世さん。11月21日に開催される第12回SOS健康フェスタのテーマは「ひとまちスマイル 新たなスタイルでつながりを！」。医師講演会や様々な体験イベントのほか、オンライン配信も実施する。フェスタに出店するステーションは、「第2次山陽小野田市健康増進計画」に基づき、健康情報の発信を行う事業所等のことで、現在市内に167か所ある。右のステッカーが目印で、健康に関するチラシなどの配布を行っている。



「きらりと光るまちの人
SMILE UP!」

Vol.11 SOS かたつむりで行こう会
部会長のみなさん

健康づくりを通して地域のつながりを作る

SOS かたつむりで行こう会とは、市民や保健・医療・福祉分野の専門職のボランティアで構成された、市民の健康づくりを推進する団体。SOSとはS:SANYO(山陽)、O:ONODA(小野田)、S:STATION(駅)の頭文字で、「かたつむり」には、一人でも多くの人を健康づくりの推進の渦に巻き込みながら、ゆっくり確実に進むことを目指す、との思いが込められている。

令和元年度から小柳さんが会長を務める同会は、スマイル、スタイル、スポーツ、情報、企画の5つの部会からなり、現在会員は36人。スマイル部会は、外に出なくなったり交流に関心がなくなったりした人のための居場所作りをしようと始まったもので、現在は老後の構え方講座なども企画する。スポーツ部会は「SOSおきよう体操」の普及活動のほか、ウォーキングの推進にも関わる。スタイル部会は主に口腔ケアを担当。歯科の先生と協力し「かむかむ教室」を開催している。小柳会長は「行政から押し付けられてやるのではなく、市民や団体がボランティアで自発的に参加していることがポイント。時代を先取りしていると思います」と話す。スマイルエイジング強化月間である今月の11月21日には、同会主催でSOS健康フェスタを開催する(20ページ)。「フェスタには、健康情報の発信を行っているステーションが一堂に会すので、たくさんの人に参加して情報を持って帰ってもらいたい。今後は、SOSかたつむりで行こう会が中心となってステーション同士の繋がりを進めていければ、多くの人に市内各地のステーションで健康情報を手にしてもらい、ステーションがどれだけ光るかに挑戦したい」と小柳会長は笑顔で話した。

えがおがいちばん!!

★対象：小学校就学前までのお子さん

- ①お子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②お子さんの名前(ふりがな)③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入

した申込書を添えて提出
(郵送、E-mailでも可)



〒756-8601 山陽小野田市役所
シティセールス課広報係 (☎82-1148)



おがた ようか
緒方 陽花ちゃん(4か月)・一止くん(4歳)
仲良しラブラブ兄妹! 2人とも大好きだよ。



たむら あおは
田村 蒼波くん(6か月)・優夏ちゃん(4歳)
姉弟仲良く、元気いっぱいになってね。

